

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 齋藤 誠司
----------	--------------

1. 政策の令和元年度までの実現状況を明らかにする

(1) 計画のビジョン（政策が実現できたときの状態）

	地域に対する意識、ライフスタイルなどが多様化する中であって、市民一人一人が人とのつながりを大切にし、地域や行政と多様な形でつながりを持ち、自身や地域のことを考え行動することにより、幸福を実感し安全・安心に暮らしている状態です。	
--	---	--

(2) 政策目標値の達成状況

No	政策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 地域活動に参加している人の割合 単位 %	50.7	53	55	58	60	60	C
			53.9	-	-	-	-	34.4
2	幸福 滝沢市で幸せに暮らしている人の割合 単位 %	60.1	64	68	71	75	75	C
			65.4	-	-	-	-	35.6
	単位							

(3) 政策を構成する基本施策及び目標値の達成状況

No	基本施策名 基本施策目標指標	基準値	上：戦略目標見込値／下：達成値				目標値	進捗状況
		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	進捗率(%)
1	暮らし 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 地域のお祭りや行事に参加した回数 単位 回	1.61	2.5	3	3.5	4	4	C
			1.7	-	-	-	-	3.8
2	幸福 01010000 互いに認め合い誰もが活躍できる地域の実現 滝沢市に愛着がある人の割合 単位 %	69.2	77	78	79	80	80	D
			69.1	-	-	-	-	△0.9
3	暮らし 01020000 安全で安心できるまちづくり 災害に強いまちだと感じている人の割合 単位 %以上	49.2	52.1	52.1	52.1	52.1	52.1	A
			55.3	-	-	-	-	0.0
4	幸福 01020000 安全で安心できるまちづくり 子どもが安全に通学できると感じる人の割合 単位 %以上	64.1	65.8	65.8	65.8	65.8	65.8	A
			67.1	-	-	-	-	0.0
5	暮らし 01030000 環境に配慮するまちづくり 豊かな自然がたくさん残っていると思う人の割合 単位 %	77.9	77.9	79.6	81.3	83	83	C
			79.9	-	-	-	-	39.2
6	幸福 01030000 環境に配慮するまちづくり 地域清掃活動への参加者数 単位 人	18,526	19,895	21,263	22,632	24,000	24,000	C
			20,113	-	-	-	-	29.0

後期基本計画 令和元年度 政策方針評価書

政 策：01 多様なつながりによって市民が行動しているまち

担当部長職・氏名	市民環境部長 齋藤 誠司
----------	--------------

2. 政策の実現に向けての令和元年度までの取り組み状況を分析する

(1) 政策目標の達成（実現）に向けた基本計画期間内の取り組みと方針についての達成（実現）状況

B	概ね達成した
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、年度末期における事務事業が中止、廃止をせざるを得ない状況となりました。そのため各事務事業又は成果の一部に空白時期等が生じている場合がありますが、年度を通じて次のとおり実施いたしました。 ・地域づくり懇談会等で行われる市民主体のまちづくり活動を支援しました。 ・ビッグルフ滝沢を核とした賑わいの創出を図りました。 ・自主防災組織の育成を図りました。 ・ごみ減量、リサイクルの推進の地域活動を支援しました。 ・環境基本計画を適正に推進しました。 ・住民情報を適正に管理しました。 	

(2) 基本計画内の取り組みと方針のうち、令和元年度の重点課題の達成（実現）状況

B	概ね達成した
<p>【重点課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別計画の推進。 ・ビッグルフ滝沢における地域活性化や地域活動の在り方 ・自主防災組織の支援 ・市民が自主的に行う資源リサイクル活動を通じた廃棄物減量 ・住民情報の適切な取り扱い <p>【重点課題に対する達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域別計画におけるインフラの整備等については、市の全体計画、財政上の観点から、話し合いによる方向付けが必要です。 	

3. 政策の実現に向けて令和元年度実施後での変化（外部環境・内部環境）を認識する

A	取組みの継続
<p>【外部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症を念頭においた事務事業の再開、安定実施には「新しい生活様式」への切り替えが必要です。また、感染症蔓延や防疫に関する情報が次々に更新されます。 ・地震、火山、気象等の災害が各地で頻発しています。 ・小売店では、買い物袋（コンビニ袋）が有料となります。 <p>【内部環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症予防のため、会合等が自粛傾向にあります。 ・災害避難は、感染症予防を念頭においた対策が必要です。 ・災害に対する的確な初動、確実な避難のためには、地域の力が重要であることが認識されています。 ・廃棄物減量、リサイクル推進は、引き続き実施します。また、ごみ処理広域化について、継続協議が必要です。 ・地域集会所の計画的な老朽化対策が必要です。 	

4. 政策の実現に向けての今後の取り組みと方向性を明らかにする

(1) 令和 3年度方針策定に際し、今後の方向性や引継課題

B	課題あり
<p>【方向性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの市民、あらゆる世代の市民が地域づくり活動に参画するための支援を行います。 ・ビッグルフ滝沢を拠点とした人のつながりを広めます。 ・避難場所の増設などで地域防災力の拡充が必要です。 ・ごみ処理広域化について話し合いを継続します。 ・市役所職員の育成を図ります。 <p>【引継ぎ課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時代に応じた地域づくりのさらなる展開が必要です。 ・各地域の中核となる人材の発掘、育成が必要です。 ・自主防災組織の育成、自立、協同が必要です。 ・廃棄物減量と資源の有効利用、生活環境の健全な保全が必要です。 	

